

2019年7月16日

## 「学校における省エネ教育プログラム」の実証校募集開始について ～全国の小学生（4～6年生）1,500名を募集～

東京ガス株式会社  
株式会社住環境計画研究所

東京ガス株式会社（代表取締役社長：内田 高史、以下「東京ガス」）と株式会社住環境計画研究所（代表取締役会長：中上 英俊、以下「住環境計画研究所」）は、2017年度より開始した「学校における省エネ教育プログラム」（以下「本プログラム」）の2020年度実証校募集を、本日より開始します。なお、本プログラムには、これまでに全国の学校から延べ26校、3,385人が参加しています。

本プログラムは、新学習指導要領に対応しており、アクティブ・ラーニングの視点からの「主体的・対話的で深い学び」を、ナッジ<sup>\*1</sup>等の行動科学の先進的な知見を用いながら学校教育に容易に導入できるように開発されています。また、児童自らが省エネ意識・省エネ行動を実感・体感するだけでなく、各家庭での電気・ガス・水道メーターの読み取り値や、取り組んだ省エネ行動の成果を記入する「行動プランシート」の内容から、教育による省エネ効果を定量的かつ定性的に評価できることが特徴です。

東京ガスと住環境計画研究所は、環境省の実施する「低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ）等による家庭等の自発的対策推進事業<sup>\*2</sup>」の一環である「生活者・事業所・地域社会の『三方良し』を実現する日本版ナッジモデルの構築」に共同参画し、プログラムの開発および実施をサポートしています。

東京ガスと住環境計画研究所は、今後とも、省エネ行動の普及活動を通じて、家庭等における環境意識の向上に貢献してまいります。

<sup>\*1</sup> ナッジ：（英語 nudge）「ひじで軽く突く、そっと後押しする」という意味で、人々が自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語。2017年にシカゴ大学のリチャード・セイラー博士がナッジ理論でノーベル経済学賞を受賞しています。

<sup>\*2</sup> 環境省が2017年度から2021年度まで段階的に実施している事業。

<https://www.env.go.jp/press/105325.html>

### <参考>

実証概要やサンプル教材、参加校の声などを下記ウェブサイトでご覧いただけます。

<https://j-nudge.jp/education/>

## ■募集概要

### 1. 募集期間：2019 年 7 月 16 日(火)～2020 年 6 月 30 日(火)

※ 既定の応募数に達した時点で、応募を締め切ります。

### 2. 募集対象：全国の小学校(4～6 年生を 1,500 名程度募集)

### 3. 実証期間

下記期間のうち、約 4～6 週間(記入済行動プランシート回収までを含む)

(1) 2020 年 5 月 11 日(月)～2020 年 7 月 31 日(金)

(2) 2020 年 8 月 24 日(月)～2020 年 11 月 30 日(月)

※ 夏休み期間は実証事業の対象外のため、(1) もしくは (2) 内で授業が完結するものとします。

### 4. 応募条件

(1) 本教育プログラムの授業 4～6 時間分の実践が可能なこと (別紙 1・2・3 参照)

- ・ 小学校 短縮版 合計 4 時間授業
- ・ 小学校 標準版 合計 6 時間授業

(2) 実践する授業で児童が作成する下記資料の提出が可能なこと

- ・ そらたんからの挑戦状
- ・ メーター記録シート
- ・ 行動プランシート
- ・ 新聞制作課題
- ・ 実践授業の様子を撮影した写真 (2～3 枚)
- ・ アンケート (先生が記入) の提出 (予定)

※ 授業に必要な教材などは、事務局より支給 (無償) します。

### 5. 応募方法、募集に関する問い合わせ先

別紙 4 へご記入いただきご連絡をいただくか、下記までお問い合わせください。

「学校における省エネ教育プログラム」運営事務局 (ロケーションリサーチ内)

住所：〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-2

電話：03-5244-9484 (平日 10:00～17:00 以外は留守番電話対応)

FAX：03-5244-9484 E-mail:sawai@location-research.co.jp

担当：栗井 (あわい)

※ 運営事務局は、ロケーションリサーチ(株)に委託しております。

以上

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞

東京ガス株式会社 広報部 報道グループ 小代 TEL：03-5400-7675

株式会社住環境計画研究所 矢田 TEL：03-3234-1177

## 小学生 標準版 プログラムの内容 (案)

## 学習をスタートするにあたり



そらたんは、本実証をナビゲートするキャラクターです。

## 1. 学習の流れ

※デジタルツール( )は、全編を通して用意されています。特に動画が入っている部分は「展開事例」にマークを入れてあります。

| ステップ      | 小題材名及び目標                                                                                | 主な学習活動                                                                                                                                                                                      | ○導入している学習手法<br>■評価の観点                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| ステップ<br>1 | <b>【事前学習】</b><br>電気・ガス・水道のメーター読めるかな？                                                    | ・各メーターを読む理由を理解し、電気、ガス、水道メーターの設置場所、メーターの数値の読み取り方を知り、記録できるようにする。                                                                                                                              | ○ドリル学習、ナッジ、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能                                           |
| ステップ<br>2 | <b>【課題発見学習】</b><br>地球環境と省エネはどんな関係？                                                      | ・家の中のどこでどんなエネルギーを使っているか、エネルギー資源や地球温暖化問題について理解することができる。<br>・自分たちの生活の中でできることをまとめることができる。                                                                                                      | ○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等                          |
| ステップ<br>3 | <b>【解決方法の検討と計画】</b><br>自分ができる省エネ行動はなんだろう？                                               | ・もったいないエネルギーの使い方をしていないかどうかがつく。<br>・どのような使い方が省エネルギーにつながるのかを仕組みと合わせて理解することができる。<br>・省エネ行動を家庭や学校で実践できる。<br>・新聞作成のための調べ学習を通して、地球環境問題への理解を深めることができる。<br>・自ら省エネ行動の大切さに気づく。                        | ○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等                          |
| ステップ<br>4 | <b>【課題解決に向けた実践活動】</b><br>省エネ行動にチャレンジ!!<br>選択体験授業(電気、ガス、水道、全般)<br>※右記プログラムから1つ以上お選びください。 | ・電気(節電実験):身近な家電製品の電力消費量を計測することで、節電対策について体感する。<br>・ガス(エコクッキング):クロックムッシュなどの調理を通して、省エネを体感する。<br>・水道(節水実験):上手な食器洗浄方法を体験し、水や湯、洗剤を上手に使う方法を体感する。<br>・全般(省エネ行動トランプ):生活と環境とのかかわりから、家庭でできる省エネ行動を体感する。 | ○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等                          |
| ステップ<br>5 | <b>【実践活動の評価・改善】</b><br>持続可能な社会に向けて発信するぞ!                                                | ・これまでの調べ学習を通した、新聞を発表し、お互いの理解を深めるとともに、自分の省エネ行動をコミットメントする。<br>・メーター記録結果を振り返り、省エネ行動を実践することで、家庭のガス・電気、水の使用量がどれくらい減ったかを確認する。                                                                     | ○ナッジ、コミットメント、フィードバック、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等<br>■学びに向かう人間性等 |
| ステップ<br>6 | <b>【事後学習】</b><br>自分の生活を振り返ろう                                                            | ・メーター記録シート、そらたんからの挑戦状他、未提出物の提出。<br>＜追加体験学習(任意)＞<br>・エコな買い物&調理カード:環境に配慮した買い物と調理について、疑似体験を通して体感する。<br>・省エネ行動トランプ:生活と環境とのかかわりから、家庭でできる省エネ行動を体感する。                                              | ○ナッジ、行動変容ステージモデル<br>■思考力・判断力・表現力等                                           |

## 本実証について…

本実証は、環境省「低炭素型の行動変容を促す情報発信(ナッジ)等による家庭等の自発的対策推進事業」における受託事業「生活者・事業所・地域社会の「三方良し」を実現する日本版ナッジモデルの構築」の一環である「学校における省エネ教育プログラムの開発・実証」として実施されるものです。

初等教育  
短縮版教師用  
解説書

# 持続可能な社会を目指して 今日からはじめる 省エネ行動

## 学習をスタートするにあたり 学習の流れ

※デジタルツール(📱)は、全編を通して用意されています。特に動画が入っている部分は「展開事例」にマークを入れてあります。

| 時間割り | 小題材名及び目標 | 主な学習活動                                                                           | ○導入している主な手法<br>■評価の観点                                                       |
|------|----------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1時間目 | ステップ 1   | 【事前学習】<br>電気・ガス・水道のメーター読めるかな？                                                    | ○ドリル学習、ナッジ、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能                                           |
| 2時間目 | ステップ 2   | 【課題発見学習】<br>地球環境と省エネはどんな関係？                                                      | ○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等                          |
|      | ステップ 3   | 【解決方法の検討と計画】<br>自分ができる省エネ行動はなんだろう？                                               | ○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等                          |
| 3時間目 | ステップ 4   | 【課題解決に向けた実践活動】<br>省エネ行動にチャレンジ!!<br>選択体験授業（電気、ガス、水道、全般）<br>※右記プログラムから1つ以上お選びください。 | ○ナッジ、行動プラン、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等                          |
| 4時間目 | ステップ 5   | 【実践活動の評価改善】<br>持続可能な社会に向けて発信するぞ！                                                 | ○ナッジ、コミットメント、フィードバック、行動変容ステージモデル<br>■知識及び技能<br>■思考力・判断力・表現力等<br>■学びに向かう人間性等 |
|      | ステップ 6   | 【事後学習】<br>自分の生活を振り返ろう                                                            | ○ナッジ、行動変容ステージモデル<br>■思考力・判断力・表現力等                                           |

### 本実証について…

本実証は、環境省「低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ）等による家庭等の自発的対策推進事業」における受託事業「生活者・事業所・地域社会の「三方良し」を実現する日本版ナッジモデルの構築」の一環である「学校における省エネ教育プログラムの開発・実証」として実施されるものです。

\*本テキスト掲載の記事、図版、イラストなどの無断転載・複製・複写を禁じます。

## ■実証校募集チラシ（表）

令和2年度（2020年度）環境省「低炭素の行動変容を促す情報発信（ナッジ）等による家庭等の自発的対策推進事業」における「省エネ教育プログラムの実証」

全国の学校で**3,385人**が参加  
CO2削減効果**-4.8%**  
※2017年度と2018年度の合計

**学校でも家庭でもつかえる！魔法のしかけ！**

平成29年版 学習指導要領対応

ノーベル経済学賞の最新の理論を取り入れた  
**「環境教育プログラム」**  
のご案内

**環境省事業、2020年度の実証協力校を募集中！※小学4～6年生 1,500名程度**

環境省「学校における省エネ教育プログラム」の2020年度実証校を募集しています。  
ノーベル経済学賞を受賞したリチャード・セイラー博士（シカゴ大学教授・行動経済学）のナッジ理論などを取り入れた最先端の「環境教育プログラム」です。  
最新の行動科学の知見を生かしたプログラムですので、応用すれば学校でも家庭でも、社会でも役に立つ、御校児童の学びの機会となります。  
本実証へご協力いただき、環境教育のこれからに対してのご意見などをいただけますと幸いです。  
※プログラムは新学習指導要領に沿った内容となっています。（理科・社会科・家庭科・総合的な学習の時間）

《実施までの流れ》

- 1 実証協力の検討申込書へ記入。（裏面）
- 2 児童用テキスト、教師用解説書等の送付。（無償）
- 3 「環境教育プログラム」の授業実施研修会。
- 4 4～6時間（毎週1時間）の授業の実施。  
※2020年5月～7月  
または2020年8月～11月
- 5 各種記入シート、アンケート等の提出。

お渡しする教材のイメージ

／ 楽しく学べる教材一式 ／

／ データを記録しよう！ ／

／ 省エネでいくら節約できる？ ／

他、体験学習プログラムとして、節電・節水実験、エコクッキングや省エネ行動トラップ等の実施を通して、児童が楽しく学べるプログラムです。

本事業へのお申込みは、裏面にてご連絡をいただくか、詳細については下記問い合わせ先までご連絡をお待ちしています。ご説明に伺うことも可能です。

## 実証事業代表

東京ガス株式会社  
暮らしサービスコミュニケーション部  
都市生活研究所  
三神 彩子

## 問い合わせ先

「学校における省エネ教育プログラム」事務局（ロケーションリサーチ内）  
〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-2  
電話：03-5244-9484 FAX：03-5244-9484（平日 10:00～17:00 以外は留守番電話対応）  
E-MAIL：sawai@location-research.co.jp 担当：粟井（あわい）

## ■ 実証校募集チラシ（裏）

【送付先】 FAX : 03-5244-9487、E-MAIL : sawai@location-research.co.jp

## 令和2年度（2020年度）「学校における省エネ教育プログラム実証校募集」検討申込書

記入日： 年 月 日

いずれかに✓印をつけ、  
必要事項にご記入ください。

☐ 教材を実際に見てみたい☐ 電話で話を聞きたい☐ 来校して実際に説明して欲しい☐ 申込を検討したい

①

学校名

（ 1. 共学校    2. 男子校    3. 女子校    ←当てはまるものを○印で囲んでください。）

②

学校所在地

〒

③

ご担当者氏名、及び担当または専門教科名

(ふりがな)

氏名

担当または  
専門教科名

④

連絡先

TEL :

FAX :

E-MAIL :

⑤

ご関心をもたれた動機を教えてください。あてはまる項目を○印で囲んでください。※複数選択可

1. 省エネ行動に興味がある
2. 環境教育に興味がある
3. 学校で環境問題に取り組んでいる
4. 取り組みたい内容がある
5. その他（自由記述）

⑥

実践予定教科・学年・人数等

教科：

学年： 年

人数： 名程度

実施予定時期： 月～ 月頃

教科：

学年： 年

人数： 名程度

実施予定時期： 月～ 月頃

教科：

学年： 年

人数： 名程度

実施予定時期： 月～ 月頃

ご記入ありがとうございました。